

2025 年度 看護補助者標準研修プログラム

研 修 名	看護補助者標準研修 －看護補助体制充実加算該当パッケージ－
主な対象	看護補助者
講義	オンデマンド研修約 600 分
演習	直接ケアに係る演習を実施

章	単元名	章の目標	時間
－	オリエンテーション	－	－
医療機関で働く看護補助者の役割と業務			
1	医療チームの機能と役割 1)医療チームにおける看護の役割 2)看護補助者の役割と責任 3)情報共有の必要性	・医療チームにおける看護の役割を知り、看護チームにおける看護補助者の役割と責任について理解できる。 ・看護師からの指示や看護チームにおける情報共有の重要性について理解できる。	講義 20 分
2	看護補助者の業務 1)看護補助者の業務範囲と業務内容 2)病棟の 1 日の流れと勤務体制・業務の特徴 3)夜勤帯の特徴と留意点	・看護補助者の業務範囲と業務内容を理解できる。 ・夜間帯も含め、病棟の 1 日の流れを踏まえた勤務体制や業務の特徴についてイメージができる。	講義 30 分
3	看護補助者に求められる倫理 1)相手を尊重する基本的考え方と態度	・看護補助者として求められる倫理や職業意識について述べられる。	講義 20 分
4	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 ①医療安全 1)医療安全組織体制、事故発生時の対応 2)急変時の対応	・患者の安全を守るための基礎知識を学び、医療事故を起こさないための注意点と対応策を考えられる。	講義 20 分
5	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 ②感染予防 1)清潔・不潔の概念 2)標準予防策 ・手洗い、手指消毒 ・個人防護具の着脱 3)医療廃棄物、ごみの分別 4)起こりやすい院内感染	・院内感染について学び、具体的な感染対策を述べられる。	講義 40 分
6	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 ③労働安全衛生 1)健康障害を生じるリスク要因 ・放射線・化学物質及び発がん性物質対策 ・腰痛対策 ・メンタルヘルス対策 ・職場でのハラスメント対策	・医療の場で健康障害を引き起こすリスク要因と自己を守るための対策について述べられる。	講義 25 分
－	確認テスト	6 問	

章	単元名	章の目標	時間
直接ケア総論			
1	直接ケアに関わる医療安全 1)患者誤認防止 2)転倒・転落防止 3)スキンテア防止	・患者援助時に起こり得るリスクについて考え、安全な援助を実施するための方策を述べられる。 ・KYT を学び、実際の援助場面でのリスクを予知し、ケアにあたる際にとるべき対策を述べられる。	講義 60 分
2	患者・患者家族とのコミュニケーション 1)良好なコミュニケーション 2)患者理解	・患者・患者家族との良好なコミュニケーションをとるための方策について述べられる。	講義 60 分
—	確認テスト	10 問	—
直接ケア各論			
	身体の清潔に関する業務 1)シャワー、入浴介助 2)清拭 3)手浴・足浴 4)洗髪 5)口腔ケア 6)洗面と整容 7)寝衣交換	・患者の安全を考慮し、身体の清潔に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	講義 120 分
—	確認テスト	2 問	—
	排泄に関する業務 1)排泄介助 (トイレ・ポータブルトイレ・尿器・便器) 2)おむつ交換	・患者の安全を考慮し、排泄に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	講義 50 分
—	確認テスト	2 問	—
	食事に関する業務 1)食事介助 2)配下膳	・患者の安全を考慮し、食事に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	講義 50 分
—	確認テスト	2 問	—
	安全安楽に関する業務 1)体位変換 2)温罨法・冷罨法 3)見守り	・患者の安全を考慮し、安全安楽に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	講義 60 分
—	確認テスト	2 問	—
	移動・移送に関する業務 1)歩行介助 2)入院、検査、病棟移動のための搬送 (車椅子、ストレッチャー)	・患者の安全を考慮し、移動・移送を遂行するための技術を習得できる。	講義 50 分
—	確認テスト	2 問	—

演習

演習項目は次の通りです(受講生の状況に合わせて、選択して実施)。

	演習項目
A	身体の清潔に関する業務
B	排泄に関する業務
C	食事に関する業務
D	安全安楽に関する業務
E	移動・移送に関する業務

修了証の発行

本研修は、講義・演習の終了により、主催の都道府県看護協会、または日本看護協会において修了証を発行します。